討議資料

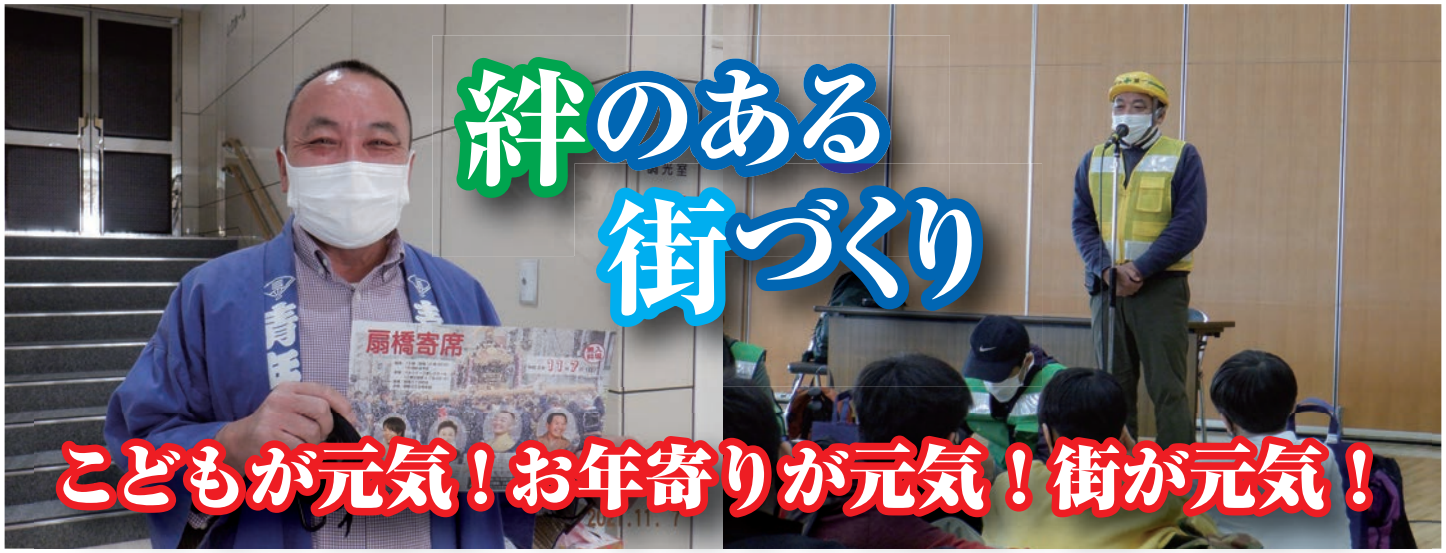
自由民主党 江東区議会議員

けんざき 美彦 通信

自民党 Lib Dems Liberal Democratic Party of JAPAN
http://www.jimin.jp

東京都江東区第三十四支部
発行責任者：釼先美彦

区政報告 Vol.13
2022年1月号



東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会と衆議院選挙

感染防止対策から無観客となり、消防団員として会場警備等のお手伝いもできず残念でしたが、多くの選手の活躍で日本人に希望と勇気を与えてくれました。そして、パラリンピック大会で選手達の躍動ある戦いと取り組む姿勢に感動しました。引き続きボッチャ等のスポーツ機会を進め、共生社会の確立に努めていきます。今村ひろふみ候補者は本来公認でしたが、党本部決定で公示４日前に全国でも異例の自民党推薦２名となりました。医療体制の構築のため区議会議員が一致団結して支援いたしましたが、当選はかないませんでした。応援いただきありがとうございました。

ホームページ http://www.kenzaki-y.com/
ブログhttp://blog.livedoor.jp/kenzaki_y/

けんざき美彦（釼先美彦）●Profile

昭和34年1月6日　江東区扇橋生まれ
〈学歴〉 江東区立川南小学校、千代田区立今川中学校、京華高等学校、玉川大学工学部
〈職歴〉 東京トヨペット㈱を経て、実家である三孝自動車㈱入社、代表取締役
〈経歴〉 川南小学校、深川第四中学校、京華中学高等学校のPTA会長を歴任し、元青少年委員、青少年対策小松橋地区副委員長、扇橋三丁目災害対策部長、深川消防団第2分団部長、深川八ヶ町防災協議会事務局長、保護司。
和太鼓指導者など長年、地域・育成活動に従事。平成20年度（教育関係）、平成30年度（自治）区政功労者表彰。
平成23年初当選、平成27年2期目当選、平成31年（令和元年）3期目当選し地域経験を生かし活動中。

自 由 民 主 党
江東区議会議員 **けんざき美彦**

事務所　〒135-0011　江東区扇橋2-21-3　TEL/FAX　03-5634-7855
携帯 080-2152-1302　kenzaki.y.katuyaku2707@docomo.ne.jp
E-mail:kenzaki.y.2707@gmail.com

令和3年度 第3回定例会・決算審査特別委員会と第4回定例本会議・一般質問に

第3回定例会・決算審査特別委員会（抜粋）2021年9月27日～10月4日

[総務費]

1．税理士の無料相談について

〔1〕無料相談の区報での掲示内容について

●永年にわたり高齢者を対象とした確定申告の無料相談をボランティア精神で支援を行っております。救済されるべき高齢者のための無料相談になるように掲載内容の検討が必要なのではないでしょうか？無料相談について現状を把握できているかお伺いします。

→税務署との連携の一環として、区が協力しています。限られた掲載スペースの中で区民に有益な情報を提供できるよう、税務署との連携を深めながら、引き続き区報掲載への協力に努めてまいります。

〔2〕無料相談会場の設営について

●人手不足の中、無料相談を行うには会場運営が課題です。区としてどのような関わりが可能か？見解をお伺いします。

→各施設の空き状況や手続き方法等につきまして、会場利用申請の参考となるよう、情報提供等の協力を行った経緯がございます。税務署から早めのご連絡で適切な情報提供が可能と考えます。

2．軽自動車税納税通知書での伝達について

〔1〕CO_2 削減のための点検整備の啓蒙について

●平成23年度より都税の自動車納税通知書の封筒に点検整備促進のため環境改善に関する標語を掲載しており、「自動車の点検整備の励行とエコドライブ推進でCO_2 削減を」と告知されています。CO_2 削減に努めるために、軽自動車税納税通知書にも点検整備を促進する標語で呼びかけることで、各利用者が点検を励行してエコドライブ走行を努めると思います。区の見解をお伺いします。

→本区の軽自動車税の当初納税通知は、約2万7千通を車両所有者である納税義務者に送付しております。歳入確保の取り組みとして、「ペイジー」の企業広告を掲載しております。軽自動車税の制度が国の環境施策と関連があることから、都での事例を参考とした上で検討したいと考えます。

[土木費]

1．交通ルールの再確認について

〔1〕自転車配達事業者の安全利用について

①自転車交通ルールの啓蒙の必要について

●小学校でも自転車走行の安全について「自転車安全利用五則」を掲示して交通ルールの再確認がされていますが大人のルール違反が目立ちます。引き続き自転車の交通ルールの啓蒙が必要ではないかと思いますが考えをお聞きします。

→小学校における自転車安全教室での自転車運転免許書の交付、中学校や高校、一般人を対象としたスタントマン活用自転車安全教室の提供、区報への自転車安全利用五則を中心とした啓発記事の掲載、今年度からはSNSでも自転車安全運転の啓発記事を発信しております。

②自転車配達事業者への交通ルールの再確認の徹底について

●自転車配達業者、個人事業者が増えている現状もあると推測します。改めて交通ルールの再確認を徹底していく必要があると思いますが、具体的な施策があればお伺いします。

→自転車配達業者への指導は、警察署が街頭で行う自転車安全運転キャンペーンへの参加など、今後とも警察署と連携し、交通安全に努めてまいります。

〔1〕電動キックスケーターの安全性について

①自転車同様の「安全利用五則」が必要、今後の方向性について

●運転者は免許証携帯とヘルメット着用が義務付けられ、スケーター本体にはナンバープレートと方向指示器の装着が必要となります。交通安全ルールについても自転車同様に「安全利用五則」となるものを呼びかけていく方針が必要と考えますが、今後の方向性があればお伺いします。

→有職者検討会を立ち上げ、電動キックスケーターをはじめとした新たなモビリティに係る安全性や利便性について分析をし、新たな交通ルールの在り方について幅広く検討を行います。電動キックスケーターの安全利用五則については、有職者検討会の推移や、今後の答申や法改正の状況を注視するとともに取扱いを考えて参ります。

街びか活動

令和3年度の役職は、文教委員会と防災・まちづくり・交通対策特別委員会（副委員長）の所属になりました。

☆江東区議会ホームページで動画録画配信　http://www.city.koto.lg.jp/ac/gikai/

区民に開かれた議会を目指し、インターネット中継の実施と会議録の公開を行っています。

て区長並び所管理事者に質問しました。質問ならび答弁を抜粋ですが報告します。

第４回定例会本会議　一般質問（抜粋）2021年11月26日

1.「東京2020オリンピック・パラリンピック」のレガシー（遺産）について

（1）文化プログラムの発信とスポーツボランティア組織について

●五輪は文化の祭典としての側面もあり、オリンピック憲章で文化プログラムの実施が義務付けられています。コロナ禍の改善後の文化プログラムの発信について考えがあればお伺いします。江東区に直接ボランティア登録をされた「江東サポーターズ」と共に活躍してくれるスポーツボランティア組織の新設について考えがあればお伺いします。

→様々な芸術や文化の取り組みを独自に文化プログラムと位置づけて、展開して参りました。感染の状況も踏まえつつ、可能なものは発表の機会を設け、発信に努めて参ります。スポーツボランティア組織の新設は、都がボランティアに関する新たなネットワークを立ち上げており、区も各スポーツイベントでのボランティア需要を勘案し、今後検討して参ります。

（2）パラリンピックスポーツの推進について

●共生社会の理念を持ってお互いが尊敬し合いスポーツの機会がうまれることが大会のレガシー（遺産）だと信じます。夏季・冬季オリパラが続くこの時期に、改めて「ボッチャ」や「カローリング」の競技を各スポーツ施設や児童館、福祉施設などで取組むまたとないチャンスと考えますが、施策があればお伺いします。

→健常者に対しても広く障害者スポーツの啓発と参加を促し、共生社会の実現に取組んでまいります。これらの競技は、子どもから大人まで幅広い世代が気軽に楽しめるものであり、区としても今後の競技の実践について検討して参ります。

（3）オリンピック・パラリンピック映画について

●公共施設の「江東区古石場文化センター」にて芸術性高い多くのオリンピック・パラリンピック映画を上映することについて考えがあればお伺いします。東京2020大会の映画は、世界的に有名な河瀬直美監督が制作しています。学校連携観戦が出来なかった児童・生徒に観てもらえる機会が実現できるか、お伺いします。

→今後芸術性の高さ、鑑賞の必要性などを勘案しながら検討して参ります。東京2020大会を振り返り、オリパラ教育の次なる進展の一つにつながるものと考えております。国や東京都の動向も注視しながら具体的に検討して参ります。

2．ロボット技術の活用と啓発について

（1）ロボット支援の活用について

●危険な現場に用いるロボットの性能や安全が求められており当区でも災害時における無人航空機（ドローン）を活用した支援協力に関する協定書を結んでいますが、その進捗についてお伺いします。区内の高齢者施設でのロボット支援の活用があればお伺いします。介護ロボットの市場規模の拡大について認識されているかお応えください。

→災害時に迅速かつ安全に被害状況を把握し、早期の復旧対策に役立てることを目的に、令和2年7月に㈱ミライト・テクノロジーズ東京支店と締結しました。関係法令や手続きに関する講義や、屋外での実機を用いた飛行試験及び通信状況の確認等を今年度中に行う予定です。介護ロボットを導入した区内の特別養護老人ホームと認知症高齢者グループホームを対象に、導入費用の一部を補助しております。介護ロボットは、職員の負担を軽減し、質の高い介護を実現するための重要なツールとして、市場規模は拡大していくものと認識しております。

（2）ロボット技術の啓発について

●子ども達に自分の手で組み立てたり、システムを考え工夫する科学教育の機会を推進すべきと考えます。親子で参加できるロボット学習に関連する科学教育への取り組みの考えがあればお伺いします。

→文化コミュニティ財団では、現在、科学技術高等学校と連携し、「ジュニア科学教室」など科学への関心を促す講座を実践しております。未来を担う子ども達のために、科学への関心を高める事業を検討し、進めてまいります。

3．循環型社会の推進について

（1）カーボンマイナスアクションについて

●「地球温暖化防止設備導入助成」内容と民間に任せつつある「電気自動車用急速充電器整備」や老朽化した「若洲風力発電施設」と再生可能エネルギーのシンボルの「マイクロ水力発電設備」など、「江東低炭素プラン」の目標あるいは施策の立て直しの考えがあればお伺いします。「カーボンマイナスこどもアクション」を含め家族と一緒に子ども達が深く考える時間を作る工夫が必要と考えますが、見解をお伺いします。

→本プランは重要事業として、温暖化防止設備導入助成事業をはじめ、再生可能エネルギーの活用、街路灯の改修、木材利用の推進等を掲げております。令和６年度を目標に各事業の着実な達成を目指してまいります。ごみとリサイクルの分別授業や「えこっくる江東」での「親子でソーラーカー工作」などは、家族で取り組める環境学習事業で、積極的に周知すると共に、事業の充実を目指してまいります。

（2）さらなるリサイクルをめざして

●環境性を重視した民間企業では、成分解性プラスチックカップ容器を積極的に取り入れ、また、本来捨てられてしまう植物繊維系の残渣（ざんさ）や間伐材の原料を粉砕樹脂加工した成型製品の完全リサイクル化が注目されています。日常生活での完全リサイクル製品活用を推進する啓発活動を広げることなど、区行政が真っすぐ進めていくことをお伺いします。

→「ごみ減量と環境配慮の買物ガイド」を作成し、周知啓発に務めております。先進的な技術開発により新たなリサイクル製品が開発・販売され、家庭での消費活動につながれば、廃棄物や二酸化炭素の排出が削減されることにもなります。
区民がごみを減量し、環境保護につながる商品を適切に購入できるよう関連する情報の発信と周知啓発に務めてまいります。

地下鉄8号線（豊洲～住吉）延伸　～事業化に向けた最終局面へ～

交通政策審議会の答申

2021年（令和3年）7月、国の交通政策審議会は「東京圏における今後の地下鉄ネットワークのあり方等について」の答申を行いました。
この答申は、地下鉄8号線延伸の早期事業着手を力強く推進する内容となっており、答申をきっかけとして事業化に向けた動きは一気に加速しています。

●ポイント

【地下鉄8号線の延伸について】
・事業主体の選定や費用負担の調整を早急に進め、早期の事業化を図るべき

【事業主体】
・東京メトロは首都・東京を含めた東京圏の社会経済活動において重要な役割を担っており、地下鉄整備に関する技術力・ノウハウを有している
・地下鉄8号線の延伸については、東京メトロのネットワークとの関連性があり、利用者サービスの観点などからも、東京メトロに対して事業主体としての役割を求めることが適切

【費用負担】
・東京メトロが地下鉄8号線の延伸を行う際には、十分な公的支援が必要であり、地下高速鉄道整備事業費補助（※国と地方公共団体による補助制度）等の活用が適切

Q&A

Q1. いつ開通するのですか？

A1. 地下鉄8号線（豊洲～住吉間）の延伸は江東区単独で実現できるものではなく、東京都、東京メトロ等との合意形成を経て実現するものです。
2021年（令和3年）7月に公表された、国の交通政策審議会答申において、早期の事業化を図るべき路線と示されましたが、具体的な開通時期は未定となっています。
なお、建設期間は概ね10年間と見込まれており、その他に都市計画決定、環境影響評価の手続き等の期間が必要となります。

Q2. 中間駅はどこにできるのですか？

A2. 江東区の調査では、東京メトロ東西線との結節駅である東陽町のほか、駅徒歩10分圏外となっている鉄道交通不便地域解消のため、豊洲～東陽町間、東陽町～住吉間の概ね中間地点に各1駅の中間新駅を想定しています。

議員トピックス

家庭倫理の会　9/19

和太鼓・WES　10/16

扇橋三丁目防災訓練　10/31

区政功労者表彰式　11/3

消防団・警防科研修　11/13

サンセットチャレンジ　11/20

まつぼっくりマルシェ　11/21

扇橋二丁目防災訓練　11/28

●家庭倫理の会　9/19
9月の辞令交付式にて、令和４年度も広報委員長の拝命を受けました。おはよう倫理塾は自粛で土日だけですが、文化活動や亀戸駅前清掃等の実践ができ会員皆さんが元気に活動しています。

●和太鼓・WES　10/16
10月から「川南和太鼓クラブ」やWES（ウィークエンドスクール）が少しづつですが再開し、児童に指導するなど育成活動に取り組んでいます。発表や大会の機会がありませんが、保護者から運営内容の意見も聞きながら子ども達がすこやかに育つよう次年度に備えていきます。

●扇橋三丁目防災訓練　10/31
町会行事が継続できていませんが、大地震や風水害に備える対策を忘れないために防災訓練は必要です。消防団菊地分団長とスタンドパイプを設営し、災害対策部長として進行もさせていただきました。

●区政功労者表彰式　11/3
招待者は制限されましたが、小松橋地区では町会・自治会で中村町会長（扇橋2）、遠藤副町会長（千田）、女性団体で梶山婦人会会長（扇橋2）、消防団員で佐竹副分団長が表彰されました。おめでとうございます♪

●消防団・警防科研修　11/13
深川消防団から第二分団への参加依頼があり、代表で「警防科研修」を受講することができました。久しぶりに笹塚の消防学校に出向き、実際の現場に対応できるような放水訓練を学んできました。

●東京ナイトウォーク・サンセットチャレンジ　11/20
実施できていなかった30㎞夜間歩行する「東京ナイトウォーク」（青少年対策委員会主催）の替わりに大災害対応に備えた完歩内容を残し、区内のぐるり公園で夜景が楽しめる18㎞歩行の「サンセットチャレンジ」に小松橋地区の中学生27名が挑戦してくれました。アトラクション（ゲーム等）も盛り上がり、実行委員会会長として嬉しい一夜でした。委員の皆さん、ありがとうございました。

●まつぼっくりマルシェ　11/21
昨年に続き「ふれあいまつり」をコンパクトにした放課後等ディサービス施設の「まつぼっくり」が主催するマルシェに協力参加しました。関連団体とのつながりを継続していくことは大切です。引き続き応援していきます。

●扇橋二丁目防災訓練　11/28
避難所での体験訓練だけでなく、風水害時の避難行動や家庭内備蓄を学習する内容（防災備蓄コンサルタント水口講師）で訓練があり日常生活で災害に備える準備ができました。とても良い企画でしたので「深川八ヶ町防災協議会」事務局長として、いろいろ工夫された訓練を伝え各町会の連携に努めてまいります。